

Vision

社会で学び続ける基盤づくり

データ駆動型&グローバル社会で自分の立ち位置を確立するために、社会で学び続け、将来を切り開く基盤が必要。その基盤とは、人間性、教養、専門性、コミュニケーション力を個性を持って備えること。国際通用性、創造性にあふれた智の体系を持つ学生を育てたい。

Process

学生が成長するための多様性の確保

広く深い教養を身に付け、豊富な経験値を得るための抜本的な教養教育プログラムの改革。学術的多様性にあふれるワンキャンパス&国際性豊かなグローバルキャンパスの両立を特色とした、多様な環境下での学びの実現。

Evidence

国際社会への卒業生の輩出

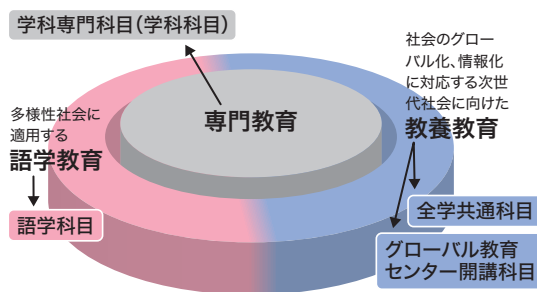
国際機関、グローバル企業、また公務員、教員などにおいて、他者に寄り添い社会課題を解決するリーダーとしてグローバルに活躍する卒業生を多数輩出している。日本人学生の留学経験者の割合は、2018年度の7.2%から2023年度には17.4%に増える見通し。



長期休暇中に行われるインドでのサービスラーニングプログラム

●専門教育・教養教育の展開

専門教育と教養教育が綿密に連携し合う、選択肢が豊富でグローバルな修学環境が整っている。



*一定の入学基準を満たす学生が、アメリカやスイスの大学院などに上智大学から推薦を受けて進学できる制度。現在の協定大学院には、コロンビア大学、ジョージタウン大学などがある。

有効に活用してグローバル社会に漕ぎ出してほしいと思っています。まさに自分自身で学び続け、道を切り開いていく学生たちです。海外で実体験を積み、国際社会にはばたく学生がこれからも増えるでしょう。

本学の建学理念である「他者のために、他者とともに生きる人」となつて、貧困問題や環境問題をはじめ、現代社会が直面する課題を解決するリーダーとして活躍することを期待しています。

上智大学



東京都千代田区紀尾井町7-1
TEL.03-3238-3167 (学事局入学センター)

➔この大学の情報は「個別大学レポート」にも掲載されています。

保護者版

■設置学部・学科

- 神学部／神学科
- 文学部／哲学科、史学科、国文学科、英文学科、ドイツ文学科、フランス文学科、新聞学科
- 総合人間科学部／教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科、看護学科
- 法学部／法律学科、国際関係法学科、地球環境法学科
- 経済学部／経済学科、経営学科
- 外国語学部／英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、スペイン語学科、ロシア語学科、ポルトガル語学科
- 総合グローバル学部／総合グローバル学科

- 国際教養学部／国際教養学科
- 理工学部／物質生命理工学科、機能創造理工学科、情報理工学科

大学パンフを取り寄せる

巻頭のはがきにコードを記入
大学パンフコード
3253
[送付物] 大学案内など
[発送時期] 6月下旬
[料金] 200円

スマートフォン・PCからアクセス
manavision.jp

—上智大学の教育の約束—

多様性豊かなキャンパスで 学び続ける基盤を培う

「西洋と東洋をつなぐ架け橋」を目的に、1913年の建学当初から一貫して国際教育を推進してきた上智大学。生涯学び続け、さらに進展する国際社会に貢献できる人を育てる教育の方針について、暉道佳明先生に聞いた。

社会で学び続ける基盤を 大学で身に付けることが大切

現在は、データが経済や社会に重大な指針を与えるデータ駆動型社会への転換期にあります。このことは、データは世界を駆け巡るため、グローバル化にも直結した社会の方向性でもあります。激動する社会の中で自分の立ち位置を確立するには、変化に対応するだけでなく、新しい価値を創造する気概と飛躍が必要で、大学卒業後も成長し飛躍を果たすために、本学では、学部教育において社会に出てからも学び続ける力の基盤を身に付けることを体系の軸としています。

その中心となるのが、豊かな人間性、広く深い教養、学科のカリキュラムから培われる専門性、そして語学を中心としたコミュニケーション力です。多様な人々が集う国際社会で、専門性は信頼を得る大きな力になります。また国際通用性のある教養を具備することは、人間性と社会性の陶冶や人生を設計する力の源となるとともに、人々とのネットワークづくりにも欠かせません。イノベーションへの着想にも教養が力になります。社会で学び続ける基盤、ひいては世界をつなぐ叡智とは

何か？……上智大学の新しい教育への挑戦です。

教養、専門性、豊かな経験を 得ることができるキャンパス

本学は、上智ならではの教養を身に付けるため、教養教育プログラムを抜本的に再構築しています。本学が重視する人間教育に加えて、書く力と読む力、情報を整理する力、同時にデータ駆動型社会で問われる人間の本質を見極める力など、人間理解のための教養を身に付けるプログラムを展開します。専門性を高めつつ、これと有機的に関連付けられる教養を深め、学び続ける力を培うのが狙いです。

また、豊かな人間性を育むために、自分なりの「経験値」を積み上げてほしいと思っています。例えば、既に存在するプログラムに、発展途上国へのスタディツアーがあります。現地で歴史や政治・経済などについて学び、格差社会の現場を経験するものです。一方で、国連での研修プログラムもあります。貧困問題の解決には、現場の実情を理解する視点と、国際協調から導く解決策に対する視野の双方を獲得する必要があります。学生の時だからこそ響く経験があるはずだと思います。

「ワンキャンパス&グローバルキャンパス」は、総合大学である上智の特徴の最たるものです。四谷キャンパスには、さまざまな学問分野を学ぶ学生と90か国からの留学生がいて、多様な人とディスカッションをし、意見の相違の受容や意見の主張などを経ながら自分のスタイルを見極めることができます。

上智大学

学長
暉道佳明

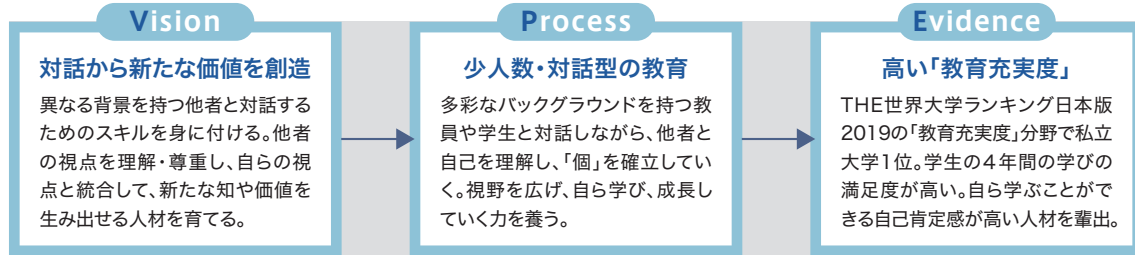
工学博士。理工学部機能創造理工学科教授。専門は、機械力学・鉄道工学。学生センター長、入学センター長、学務担当副学長を経て、現在に至る。



—国際基督教大学(ICU)の教育の約束—

多様な人々と対話する中で 新たな価値を生み出す人を育てる

献学以来、日英バイリンガルによるリベラルアーツ教育を実践してきた国際基督教大学(ICU)。学生が自律的に学びの興味・関心を広げ、他者と対話するための学修の環境を整備してきた。ICUがめざす教育について、2020年4月に学長に就任した岩切正一郎先生に話を伺った。



＜国際基督教大学の教育の特色＞

教養学部		1年次	2年次	3年次	4年次
		自分の興味・関心の軸を確認する期間		自分で選んだメジャーを中心に深く学んでいく期間	
全学共通科目	語学教育科目	リベラルアーツ英語プログラム(ELA) 日本語教育プログラム(JLP)		1~4年次を通じて履修することができます。	
	一般教育科目				
	保健体育科目				
専門科目		①メジャーの基礎科目		②自分が選んだメジャーの専攻科目 ③選択科目	④卒業研究
留学・海外体験		英語研修		専門を深めるための留学・海外体験	

1・2年次に幅広い知識を修得後、3年次以降に専修分野(メジャー)を深めていく

られます。日本の学生の自己肯定感の低さが取りざたされる中、ICUの学生は自己肯定感が高く、ポジティブです。これは、卒業後も学び続ける人生の土台になっていくものだと思います。昨今、頻繁に「生産性」が話題として取り上げられていますが、生産を広い意味で捉えれば、価値観を生み出す「創造性」でもあります。全ての学問は、モノやお金だけでは捉えられない価値を、社会や自分の中に生み出していく力となり、人類が生きるうえで必ず役に立ちます。ICUで、お子さまの好奇心を刺激する、一生涯が続けられる学びの土台を見いだしてほしいですね。



国籍も専修分野も多彩な学生が集まるキャンパス

英語のほかに、9つもの言語とその背景にある文化や思想を学ぶ環境を整えています。

高い自己肯定感が
生涯学び続ける土台になる

現代は価値観の共有と分裂が同時に起こりながら、環境や技術のあり方が大きく変わっていく時代です。このような時代には、私たちは誰もが地球市民であるという意識を持つことと、専門を異にする多様な立場の人と協働することが大切です。ICUの初代学長、湯浅八郎氏が掲げた大学の理念の一つに、「明日の大学」という言葉があります。明日は今日よりも世界や人間の理解が一段と深まっている、今日の教育・研究はそのためにある。大学の意味、大学で学ぶ意味はそこにあります。大学では、異なる背景を持つ他者と国籍や文化の枠を超えて対話するためのスキルを身に付けることが重要です。他者の視点を理解・尊重し、自らの視点と統合して新たな知を発見する。自らの常識についても、批判的に思考し、他者との対話を通して、課題を解決する。そして、学び続けて進化していく。ICUがめざすのは、平和と相互理解の実現です。キャンパスは、地球市民としてよりよい明日について考え、実践に結び付ける場でもあります。

ICUの初代学長、湯浅八郎氏が掲げた大学の理念の一つに、「明日の大学」という言葉があります。明日は今日よりも世界や人間の理解が一段と深まっている、今日の教育・研究はそのためにある。大学の意味、大学で学ぶ意味はそこにあります。大学では、異なる背景を持つ他者と国籍や文化の枠を超えて対話するためのスキルを身に付けることが重要です。他者の視点を理解・尊重し、自らの視点と統合して新たな知を発見する。自らの常識についても、批判的に思考し、他者との対話を通して、課題を解決する。そして、学び続けて進化していく。ICUがめざすのは、平和と相互理解の実現です。キャンパスは、地球市民としてよりよい明日について考え、実践に結び付ける場でもあります。

他者との対話と協働を通して
よりよい明日をめざす

多様性・国際性の高い環境で
他者・自己理解を深める

ICUの授業の特長は、少人数・対話型の教育です。学生同士、教員と学生、教員同士が対話しながら、共に真理を問い続けています。多様性・国際性の高さもICUの強みです。3人に1人が外国籍の教員と、約50か国から集まる学生が共に学ぶキャンパスは、日本語と英語が公用語です。常に対話が生まれる環境から、自分と異なる考えや価値観を知り、他者を理解しようとする姿勢が生まれます。その結果、国際社会のコンテクストの中の自己理解が深まり、確固としたビジョンを持ち、他者と協働できるコミュニケーション力を持った人が育ちます。ICUは、1953年の献学以来、日本の高等教育にはなかった「リベラルアーツ教育」を実践してきました。2008年度には、メジャー制度を導入。自分の関心がどの分野にあるのかを見極め、2年次の終わりまでに文理にわたる30余りのメジャー(専修分野)から専門を決定します。関心のある専修分野を時間をかけて探ることができるので、より意欲的に

国際基督教大学(ICU)



東京都三鷹市大沢3-10-2
TEL.0422-33-3058 (パブリックリレーションズ・オフィス)

■設置学部・学科

●教養学部 / アート・サイエンス学科(美術・文化財研究、音楽、文学、哲学・宗教学、経済学、経営学、歴史学、法学、公共政策、政治学、国際関係学、社会学、人類学、生物学、物理学、化学、数学、情報科学、言語教育、言語学、教育学、心理学、メディア・コミュニケーション・文化、日本研究、アメリカ研究、アジア研究、ジェンダー・セクシュアリティ研究、開発研究、グローバル研究、平和研究、環境研究)

大学パンフを取り寄せる

巻頭のはがきに
コードを記入
大学パンフコード
3246
[送付物] 大学案内など
[発送時期] 随時
[料金] 200円*

スマートフォン・PCから
アクセス

manavision.jp

*2020年6月上旬までの取り寄せの場合は2020年度(旧年度)大学パンフを、6月中旬以降の取り寄せの場合は、2021年度(新年度)大学パンフをお届けする予定です。

国際基督教大学

学長
いわき せいいちろう
岩切正一郎

文学修士(東京大学)。東京大学助手を経て、ICUには1996年助教授として着任。2007年教授、教養学部副部長、アドミッションズ・センター長、教養学部長を経て、2020年4月学長就任。専門はフランス近・現代詩。



学べるのです。例えば、「経済学を学びたい」と思って入学した学生が、生物学の分野に進むなど、学びの中で文理の区別を超えて専修分野が変わる場合もあります。3年次以降に、自ら選んだ専修分野を中心に、学びを深めていきます。第3の言語の習得にも力を入れています。言語を学ぶことは、相手の文化を相手の立場で理解し、世界への認識を深めることです。ICUでは、自発的な言語学習として、日本語

—立正大学の教育の約束—

アクティブ・ラーニングを取り入れ、
専門性と人間性を備えた人材を育成

教育機関として長い歴史を誇る立正大学は、「モラリスト×エキスパート」を育む。を教育目標に掲げ、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育を実践している。同大学の吉川洋学長に、高等教育のあり方について語っていただいた。

創立からの長い歴史の中で
育んできた教育のあり方

立正大学の源流は、1580年に日蓮宗の教育機関として設立された「飯高檀林」にあります。その後、教育・研究機関としての役割を果たし、大正13年の大学令公布により、立正大学は誕生しました。2022年には開校150周年を迎えます。大学令が公布された当時は、日本が近代的な文化を取り入れながら、急速に変化を遂げた時期でもあります。本学は長い歴史の中で、常に社会の変化に柔軟に対応しながら、教育機関としての役割を果たしてきました。

近年の社会を取り巻く環境は、AIの技術的発展が飛躍的に進み、産業構造が大きく変化すると言われています。一方では、グローバル化がますます加速。大学もグローバル競争のさなかにあり、日本の受験生が海外の大学に進学することも増えてきています。

データサイエンス学部(仮称)を
2021年度に新設予定

社会を取り巻く環境が大きく変化する中、本学の教育に対する考えは今も昔も変わりありません。それは、「モ

ラリスト×エキスパート」——モラルと融合した感性豊かな専門性を備えた人材を育てること。そして、次世代に必要なとされる人材を育成することにあります。

「モラリスト×エキスパート」を育む。は、本学が掲げている教育目標です。本学の全ての学生が、所属する学部学科の学びを究めて「エキスパート」と呼ぶにふさわしい学識と専門性を磨きながら、他者の価値観や文化を受容する姿勢と、自らの考えを持って主体的に行動する姿勢を兼ね備えた「モラリスト」と呼ぶにふさわしい人間性を育んでいくことを目的としています。

この教育目標を実現するために、本学ではさまざまな取り組みを進めています。例えば、講義科目と実習科目の両方に、アクティブ・ラーニングを取り入れていること。全学生が1年次に履修する必修科目「学修の基礎」はその一つで、少人数制の授業により、資料の収集方法や論文の書き方、発表や討論の方法など、「大学での学び方」を主体的に修得しています。

さらに、2021年度には「データサイエンス学部(仮称)」の新設を予定しています。「データサイエンス」は、産業界が注目している技術の一つ。

来への想い」を真摯に受け止め、目標実現のためのサポートに全力で取り組んでまいります。

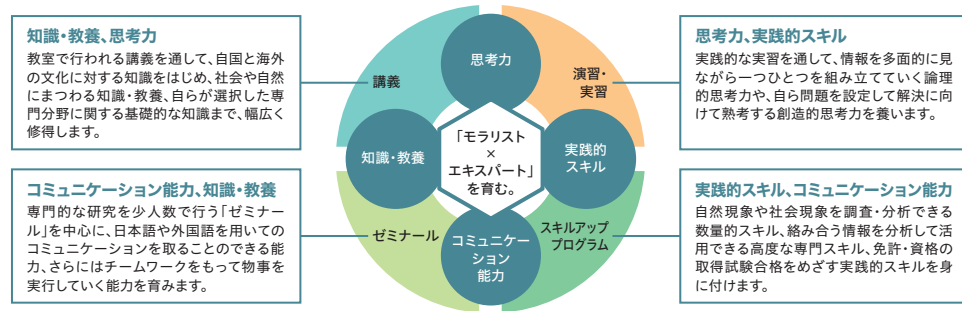
文部科学省の大学教育再生加速
プログラムに採択

本学はアクティブ・ラーニングに対する取り組みに早期から着手しており、教育手法の開発や学修成果の検証を続けてまいりました。この取り組みが評価され、文部科学省「大学教育再生加速プログラム(A.P.)」の「テーマI(アクティブ・ラーニング)」に選定されました。地球環境科学部の成果を紹介すると、大教室多人数講義科目でタブレット端末を活用した双方向授業を行っているほか、地域連携を軸にしたフィールドワークを実施。学生の主体的な学修姿勢を引き出すとともに、考察力やコミュニケーション力の向上を促しています。同プログラム終了後も引き続き、アクティブ・ラーニングの推進に力を入れていく方針です。

保護者の皆さまには、どうかお子さまの個性を尊重し、お子さまの「どのような仕事に就き、どのような人生を歩んでいきたいのか」という思いをかなえる場として、大学進学を検討していただけたらと願っています。立正大学はこれからも「モラリスト×エキスパート」を育む。という教育目標を根底に据え、学生一人ひとりの「未

●立正大学の学びのしくみ

知識のインプット・成果のアウトプットを通して自己を表現する4つの力を修得



立正大学



〈品川キャンパス〉東京都品川区大崎4-2-16
TEL.03-3492-6649 (入試センター直通)

→この大学の情報は「2021年度開設予定 新しい大学・学部・学科情報」にも掲載されています。

保護者版

■設置学部・学科

〈品川キャンパス〉

- 心理学部／臨床心理学科、対人・社会心理学科
- 法学部／法学科
- 経営学部／経営学科
- 経済学部／経済学科
- 文学部／哲学科、史学科、社会学科、文学科(日文・英文)
- 仏教学部／仏教学科、宗学科
- 〈熊谷キャンパス〉
- 地球環境科学部／環境システム学科、地理学科

●社会福祉学部／社会福祉学科、子ども教育福祉学科

●データサイエンス学部(仮称)*

* 2021年4月設置構想中。名称や内容は計画中であり、変更が生じる場合もあります。

大学パンフを取り寄せる

／巻頭のはがきに
コードを記入／

大学パンフコード

3323

〔送付物〕大学案内など
〔発送時期〕随時
〔料金〕無料

スマートフォン・PCから
アクセス

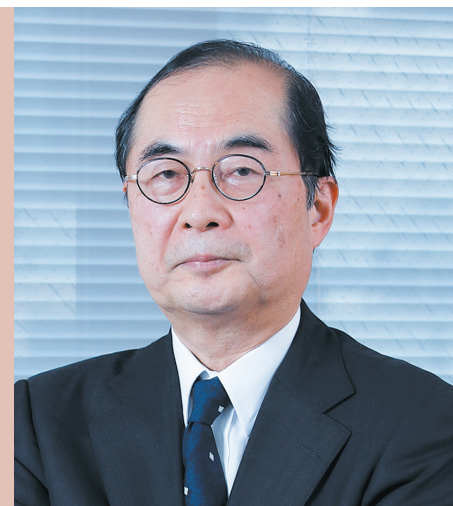


manavision.jp

立正大学

学長
よし かわ ひろし
吉川 洋

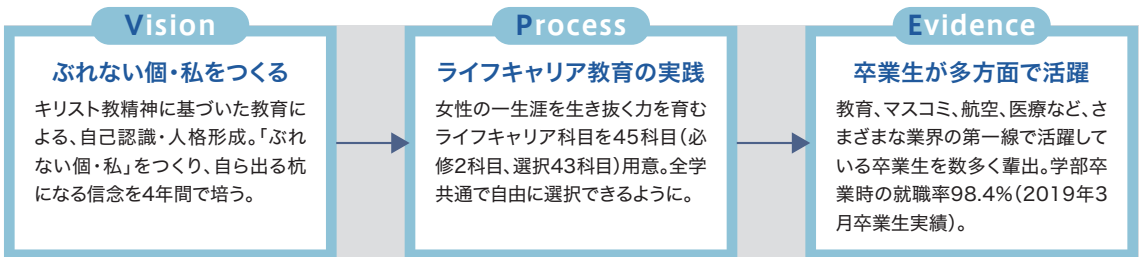
2019年度から現職。ニューヨーク州立大学助教授、東京大学大学院教授等を経て、2016年より立正大学経済学部教授、東京大学名誉教授。2010年紫綬褒章受章。



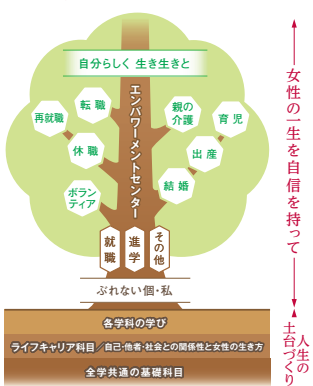
— 広島女学院大学の教育の約束 —

ライフキャリア教育こそが 女性の一生涯を生き抜く力を育む

社会の多方面で活躍する女性たちを輩出してきた広島女学院大学。女性の一生涯を生き抜く力を育む「ライフキャリア教育」とは何か。教育者として60年奔走し、自ら女性の躍進を体現してきた湊晶子学長に聞いた。



ライフキャリアツリー



近年、女性の就業が急速に促進されるなど、女性を取り巻く労働環境は大きく変化しています。しかし世界に目を向けると、社会進出における男女格差を示す「ジェンダーギャップ指数」では、日本は各国に比べてまだまだ低いのが実状です。

女子大学だからこそできる
人格教育

就職やさまざまなライフイベントがあるのです。そこで本学では、卒業後も活用できる「エンパワーメントセンター」を設けています。卒業生にはいろいろな節目に母校に戻ってきて、リフレッシュしたりパワーをチャージしたりしてほしい。そのため、講演会、再就職セミナーなど、女性の一生涯を支える活動にも力を入れています。

大事なのは「どの大学に入ったか」ではなく、「どのような女性に成長して社会に出るか」です。それが女性の一生涯を決めると考えます。広島女学院大学の卒業生が多様な分野で生き生きと活躍している姿を見るにつけ、「女子大学で学んだからこそ」と思わずにはいられません。

また、学ぼうえでは女子大学であることも利点です。何事も自分たちでやらなければならない環境では、自ずと甘えから解放され、判断力・決断力などのリーダーシップが育ちます。本当にやりたいことにも専念できます。あるいは切磋琢磨する中で、仕事、結婚、子育て、介護などの悩みについて相談できる、一生涯の友を得ることもできます。

「目立たないことが美德」というような日本的な価値観は、国際社会では通用しません。イエスとノーを明確に示す生き方こそが求められます。その軸を養うためにも、キリスト教に立脚した教育には意義があります。本学の建学の精神に「我らは神と共に働く者なり」とあるように、私自身クリスチャンだからこそ、人生のさまざまな局面でも自分を厳しく律することができたという気がします。

学部・学科編成

人文学部		人間生活学部		
国際英語学科	日本文化学科	生活デザイン学科	管理栄養学科	児童教育学科
●GSEコース Global Studies in English ●英語文化コース		●生活プロデュース ●被服・ファッションデザイン ●インテリア・住居・建築デザイン ●地域デザイン		●幼児教育コース ●児童教育コース
全学共通 ライフキャリア科目 自己・他者・社会との関係科目群 など (必修:2科目 選択:43科目)				
全学共通 基礎科目 キリスト教入門、初年次セミナー、基礎英語、情報リテラシー、日本語表現技法				

広島女学院大学では、キリスト教精神に基づいた人格教育を実践しています。人格教育とは人間教育ではなく、自己認識・人格形成であり、わかりやすく言えば「ぶれない個・私」を育む教育です。その土台に「ライフキャリア教育」があります。ライフキャリア教育は、一生涯を視野に入れつつ、その中で特に「女性だからできること」に重点を置いた学び

キリスト教精神に基づく
ライフキャリア教育を実践

「出る杭は打たれる」という言葉がありますが、出過ぎた杭は打たれることがあります。私は一人ひとりの良さを伸ばすためにも、「出る杭を育てる教育」が必要だと考えています。学生たちには自ら出る杭になる信念を持ち、途中で諦めずにとことんやり切る。そ

一生涯学びは続く
自ら出る杭になる信念を

「出た杭は打たれる」という言葉がありますが、出過ぎた杭は打たれることがあります。私は一人ひとりの良さを伸ばすためにも、「出る杭を育てる教育」が必要だと考えています。学生たちには自ら出る杭になる信念を持ち、途中で諦めずにとことんやり切る。そんな力があるのです。

です。社会で活躍して報酬を得るための知識・教養だけでなく、結婚、転職、出産、育児、親の介護など、人生のあらゆるステージを「キャリア」と捉え、その時々で自分らしく生き生きと輝ける力を育むことを目的としています。学生は全学共通で、自己・他者・社会との関係を学ぶ「ライフキャリア科目」を受講することができま。ライフキャリア科目は45科目あり、他学科の科目で自分の将来構想に役立つものを自由に選択できるようにしています。私が1年次の必修科目「キャリアプランニング」で女性の一生について講義をすると、学生たちは目をキラキラさせて聴いています。ディスカッションでも質問が途切れることがありません。「いかに生きるか」に、みんな興味があるのです。

広島女学院大学



広島市東区牛田東4-13-1
TEL.082-228-8365 (入試課直通)

■設置学部・学科

- 人文学部/国際英語学科[GSEコース、英語文化コース]、日本文化学科
- 人間生活学部/生活デザイン学科[生活プロデュース、被服・ファッションデザイン、インテリア・住居・建築デザイン、地域デザイン]、管理栄養学科、児童教育学科[幼児教育コース、児童教育コース]

大学パンフを取り寄せる

巻頭のはがきにコードを記入 / スマートフォン・PCからアクセス
 大学パンフコード
3802
 [送付物] 大学案内など [発送時期] 6月上旬 [料金] 無料
 manavision.jp

んな力を大学時代に身に付けてほしいと思っています。もちろん学びは大学時代だけのものではなく、一生涯続きます。そのイメージを絵にした「ライフキャリアツリー」を見ていただければわかりますが、本学の学生は4年間で基礎科目、ライフキャリア科目、専門科目と学びを積み重ねることによって、女性が自信を持って一生涯を送ることができる人生の土台づくりを行います。そこで「ぶれない個・私」が確立され、その先に

広島女学院大学

学長
みなと あきこ
湊 晶子

東京女子大学卒、ホイートン大学大学院修了。ハーバード大学客員研究員、東京女子大学教授・学長を経て現職。瑞宝中綬章受章、ペスタロッcher教育賞受賞。二男一女の母。

